

第三回：空間をデザイン

システムキッチン「Lavita」収納

暮らしにあった拘りの形を見つける
(2017/03/28)

マンションでの暮らしから、戸建てを建てたいと思った3つの理由

～自分の拘りを見つける～

15年程前 戸建てを建てました。それまではマンションで暮らしていたのですが、戸建てに移り住みたい理由が3つありました。

それは、1. 収納の棚のピッチを自由に変えられる様にしたかった事、2. 私自身の場所として、小さくても自分だけの空間・ユーティリティを持ちたかった事、3. お花が大好きなのでガーデニングをもっと楽しみたかった事です。

今回は戸建に移り住んだ際に選んだキッチンとその理由についてお伝えします。



収納マジック満載 ～膳棚の影響から「スライドドア」+「引き出す収納」～

マンションでは、開き戸の食器棚を使っていました。家を建てることになり、建設会社の標準装備とは違うメーカーのものでしたが、当時旧サンウエーブ(※現 LIXIL) から発売された空間をデザインするシステムキッチン「Lavita」を選びました。

その理由は、祖母の「膳棚」の影響か、「観音開き」でなく、「引き戸が使い易いのでは?」と感じていたこと、「引き出す収納」として話題になり、グッドデザイン賞も受賞、スーパー収納と言われた、そのシステムキッチンをどうしても使ってみたかったからです。

「キッチン本体の引き出す収納」は、奥行や高さ空間まで存分に活かしきる事ができ、毎日の生活で出し入れもし易く、使い易いものでした。開閉は「Lavita」だけのシンクロナイズドア。開き扉に比べ、45cm分広く使うことができ、大きな取っ手で滑らかに開閉。開くと一目で見渡せる為家事効率も良く、現在も快適に使っています。

- 住まいの達人コラム - 暮らし・プロに聞く

煌めき収納 鷗野 朝香さんインタビュー



- 第一回：心の原風景となる暮らし1 幼い頃、目にしてきたもの (2017/02/28)
- 第二回：心の原風景となる暮らし2 親となって次世代に繋ぎたいもの (2017/03/14)
- 第三回：空間をデザイン システムキッチン「Lavita」収納 暮らしにあった拘りの形を見つける (2017/03/28)
- 第四回：自分好みのもので生活を楽しく 生活の不便を改善 毎日の暮らしの風景がお子様達の原風景になる (2017/04/28)

子どもの心の原風景となる素敵な暮らし～モノの選び方 毎日の何気ない風景、その生活空間が原風景となります
年齢を重ね、大人になってもふと思い出す、幼い頃の心の原風景となる場面はありませんか?
生まれ育った家、お台所での朝の風景、お料理の音、美味しそうな香り……。その生活空間での毎日の暮らしが現在の自分を作り、次の世代を担う子どもたちに伝わっていくものになるのでは、と感じています。
空間を整えること、そこに暮らす家族の姿、温もりが子どもの心の原風景となる！その大切さについて考えてみたいと思います。

余談ですが、私自身が若い頃過ごした自分の部屋は3面が大きな収納になっていて、綺麗に中を整えたり、より使い易くするには?と考えて、部屋の模様替えをするのが楽しみでした。その後マンションに移り住んだあとにも何度かインテリア雑誌「美しい部屋」に取り上げて載ったことがありました。



5種類揃ったキャビネット ～自分の暮らしに必要なものを選んで選ぶ～

2つのキャビネットで1つのユニット、組み合わせ自由、賢いしまい方を追求した「Lavita」だけの収納アイデア。棚板タイプ、引き出しタイプ、カップボードタイプ、パントリータイプ、家事デスクタイプの5つから2つを選ぶことが出来ました。引き出しタイプにすることは即断できましたが、あとひとつをどれにするか悩みました。

不規則な勤務の夫との結婚生活、年子の男女の子育てで、よくあるマンションの間取りで夫と子どもの部屋はあるものの、私の空間がなく、ユーティリティーに憧れていた私は、家事デスクタイプかパントリーか……。結局、家事動線を考え、パントリータイプに！ストック食品をパントリーから取り出す、冷蔵庫から食品を取り出し、調理と今でも、毎日の動線がスムーズで快適に使っています。



食器が好き ～収納量、棚板のピッチ、 整理のし易さから、引き出しタイプを

祖母や母の影響で食器が大好きな私は、縦の空間に無駄がなく、沢山の食器を奥まで並べて仕舞うことができる、6段の引き出しタイプを選びました。

1段目はカトラリートレー装備、2段目以降は12cmと21cmの深さ。引き出しの上はピッチも細かく変える事が出来る棚板になっているので、お気に入りの切子やグラス、集めていたコーヒーカップなどを掛ける収納にしています。奥行は45cmと65cmのうち深い方を選んだので、同じアイテムを縦1列にして、種類ごとに分類。大好きな食器が整列した、その空間を眺める時間も嬉しいものです。

暮らしの空間の中に自分が嬉しいと思える場所を作ると自然にお母さんの笑顔が増えます。その笑顔は、そこで育つお子様にとっても素敵な原風景になることでしょう。

これからキッチンなど設備を考えようとなさる場合は、ご自分の暮らしの形、間取り、食器などのモノの量、種類、どんなお料理が多いのかなどをきちんと把握なさった上で、一番良いと思われる収納の形を決められるのが毎日の暮らしを楽しく、快適にするコツではないかと思います。

プロフィール

明治大学短期大学 法律科卒業 ・ 慶應義塾大学 法学部卒業

業務用カメラメーカー勤務・営業事務を担当

SE人材派遣会社にて 総務人事を担当

大手国際特許事務所にて 外国特許出願を担当

整理収納アドバイザー1級・日本経営協会ファイリングデザイナー1級

フラワーデザイナー・ガーデニングコーディネーター

ルームスタイリスト1級・シェルフिटアドバイザー

・輸入住宅産業協会ライフスタイルプランナー

・ライフスタイルリフォームアドバイザー

女性が家事・育児を楽しみつつキラキラ輝く「私時間」を持つ為の空間と書類の整理=「煌めき収納®」をご提案します。

「煌めき収納 整理・ファイリング☆フラワーで輝く私時間」

ブログ <http://ameblo.jp/kirameki-shuunou-glanz>

HP <http://www.kirameki-glanz.com>